



2020 年 6 月号

佐賀市市民活動プラザ広報誌

HONOHONO

ホノホノとはハワイの言葉で“ぶらぶら”や“散歩”という意味です。



TOPIC

特定非営利活動法人

嘉瀬川交流軸



写真 左：宮崎 将和さん 右：荒牧 軍治さん

嘉瀬川流域、水辺環境を中心に活動をし、
また「さが水ものがたり館」の管理・運営を担っている
NPO 法人嘉瀬川交流軸の荒牧さんにお話を伺いました。



嘉瀬川交流軸

荒牧さん



荒牧さんが「さが水ものがたり館（以下…水ものがたり館）／NPO法人嘉瀬川交流軸（以下…交流軸）」に関わるようになったきっかけについて教えてください。

私は、土木工学を専門に佐賀大学で教授として教壇に立っていました。定年退職した頃、当時、水ものがたり館の管理運営をしていた会社から「館長にならないか」とのお話があり引き受けました。その後、政治や社会の情勢もあり、水ものがたり館をNPO法人で管理運営していく方針となり、NPO法人嘉瀬川交流軸を設立したことで、より一層水ものがたり館に関わることになりました。

水ものがたり館と交流軸の活動について教えてください。

水ものがたり館の事業としては、県内の小学生の社会科見学の案内と、主に大人を対象に防災、水環境などをテーマとした嘉瀬川交流塾という講座などを開催しています。

NPO法人としての活動は、嘉瀬川の上流、中流、下流の各地域住民の方向けに嘉瀬川ダムの機能について知ってもらうための現地見学会、治水・利水をテーマにした講座などを開催しています。今年は新型コロナウイルスの影響で開催できなかったのですが、ダム竣工以来、毎年「嘉瀬川ダム感謝祭」を開催しています。



他団体との協働や連携事業などは実施されていますか？

私たちは、水辺環境保全・活用を中心に活動している多くの団体と連携して事業を行っています。それらの団体と連携、

情報共有の場として「佐賀水ネット」を立ち上げています。国土交通省、佐賀県、自然と暮らしを考える研究会（町切水こまなき車）、駒鳴集落を守る会（伊万里市）、さがクリークネット、縫ノ池湧水会（白石町）などの団体が参加しています。

「令和元年8月の前線に伴う大雨」で武雄市、大町町、白石町を中心に被害がありました。今後もあのような水害が起こるのではないかと考えられます。さが水ものがたり館の館長、交流軸の活動に携わり、また土木工学を専門にされている荒牧さんから何かアドバイスや注意するポイントなどがあれば教えてください。

佐賀の水害の場合についてですが「一番怖いのは、大きな川の堤防が壊れること」です。川の近隣に住まわれている方は、水位や警報を気にかけてもらいたいです。

以前、私たちがシミュレーションをしたことがありますが。仮に嘉瀬川のある



地域で決壊すると、多くの地域で1m以上浸水します。その際、約2万人の方が自宅などの2階へ避難して身動きが取れなくなることが考えられますが、救助・救出に3日ほどの時間がかかるのではないかと考えています。

皆さんには、2階へ避難し孤立した場合を考えて、とにかく3日間は何んとか自宅で「生き延びる」ことを想定して準備をしておいてほしいと思います。

3日間過ごすのであれば、どのようなものを準備すればよいのでしょうか？

やはり非常食、飲料水、災害時用の簡易トイレキットの備蓄は必要です。備蓄品を用意する際には、要冷蔵の食料、ガスコンロなどで加熱を必要としない食料、また乾パンやアルファ米などが苦手な方は保存期間が長く、好みの食料を用意するといった工夫をすることも重要です。

食料と同じくらい重要になるのは情報です。情報飢餓にならないためにもスマートフォンは不可欠です。スマートフォンから河川の水位を調べられる



NPO 法人

嘉瀬川交流軸

TEL : 0952-62-1277

FAX : 0952-62-1278

活動日 : 毎月第三土曜日

開催場所 : さが水ものがたり館

入会の条件 : 会員費 3,000 円

※詳細は、団体へお問い合わせください。

ことができ、ラジオなどの各メディアの情報を入手できます。情報を得ることで、外の状況が把握できるようになり、避難するか留まるのかといった判断ができるため、スマートフォンは非常に重要なアイテムです。しかし、バッテリーがなくなってしまう意味をなさないので、スマートフォンを充電するためのモバイルバッテリーなども合わせて準備する必要があります。

ストレスや負担を少しでも軽減できるような準備や工夫は本当に大切です。モバイルバッテリーについても見落としていました。

事前の準備も重要ですが、台風、豪雨などは、雨量や河川の水位はある程度予測できます。予測ができるからこそ、老若男女問わず、少しでも早く避難することを心掛けてもらいたいです。



助成金情報



環境	2020 年度 公益信託 農林中金森林再生基金
対象活動	荒廃した民有林の公益性を発揮させる活動 地域の森林に対する長期ビジョンがあるもの
締切	2020 年 6 月 30 日（火）当日消印有効
助成金額	1 件あたり上限 3,000 万円
お問い合わせ先	全国森林組合連合会 組織部 林政・指導課 TEL : 03-3294-9719

子ども	伊藤忠記念財団 2020 年度子ども文庫助成
対象活動	絵本や人形劇及び紙芝居などの購入 もしくは指定研修会への参加
締切	2020 年 6 月 20 日（土）当日消印有効
助成金額	1 件あたり一律 30 万円 ※事業によって異なります。
お問い合わせ先	（公財）伊藤忠記念財団 助成事業部 TEL : 03-3497-2651

国際	日本台湾交流協会 2020 年度助成事業（下半期）
対象活動	日本または台湾で開催される法学・経済・ 社会・文学等の分野の講演、研修会等 台湾にて実施される日本文化紹介事業
締切	2020 年 7 月 25 日（土）当日消印有効
助成金額	1 件あたり 10 万～ 50 万円程度
お問い合わせ先	公益財団法人日本台湾交流協会 東京本部 TEL : 03-5573-2600

男女共同 子ども	程ヶ谷基金 2020 年度 男女共同参画・少子化関連顕彰事業
対象活動	男女共同参画社会の推進または 少子化対策活動
締切	2020 年 9 月 30 日（水） 必着
助成金額	1 件あたり上限 50 万円
お問い合わせ先	公益社団法人程ヶ谷基金 事務局 TEL : 045-921-0050

check

佐賀市市民活動プラザ

検索

ここには情報の一部を掲載しています。その詳細や他の情報の内容については、プラザのホームページか右の QR コードからご確認ください。

イベント情報



助成金情報



ボランティア情報





プラザからののお知らせ



開催の様子は、
プラザの Facebook を
チェック！！

プラザ Facebook
QR コード



Stay Home 中での新たな試み オンラインで 動画編集講座 を開催しました！！

39 名の方に 参加していただきました。
ありがとうございました。



講師 三重野 健司氏
フリーランス映像作家
元テレビ番組ディレクター

連続交流会第一回

参加費
無 料

事前
申込不要

というときの 災害に備える

交流連携事業 いどばたかいぎ

災害、復旧そして復興へ

2020 年 6 月 18 日 (木) 18:30 ~ 20:30

2019 年 8 月、武雄、大町、白石を中心に記録的な大雨が発生しました。
これまで経験したことがない事態が起こり甚大な被害が出ました。

いつ起こるか分からない災害。万が一のために自分自身【自助】と地域
【共助】の備えが必要になってきます。

2019 年 8 月の前線に伴う大雨で、支援活動などで実際に動かれた団体の
経験をもとに復旧、復興について考え、連携していくための交流会です。
どなたでも参加できます。お気軽にご参加ください。

ゲスト



佐賀災害支援
プラットフォーム
(通称 SPF) 委員長
岩永 清邦さん

佐賀県建築士会
川崎 康広さん



編集後記

私事ですが、5月いっぱいでプラザを退職いたします。
広報誌の作成に携わり約3年。パソコンを全然使った
ことがない、デザインのことも知らない状況でのス
タート。過去の広報誌を見返すと、恥ずかしさもある
反面、感慨深い。最後に、これまで広報誌にご協力い
ただいたみなさま、この場を借りてありがとうございました！今後とも、佐賀市市民活動プラザをよろしく
お願いいたします。

内藤



佐賀市市民活動プラザ

佐賀市市民活動プラザ

佐賀市白山二丁目 1-12 佐賀商エビル 7F

TEL: 0952 - 40 - 2002 FAX: 0952 - 40 - 2011

E-mail: plaza@tsunasaga.jp

ホームページ、フェイスブック もご覧ください

年末年始以外無休 開館時間 9 時 ~ 22 時